

こころ 販売・イベント情報

(7月21日～8月31日まで)

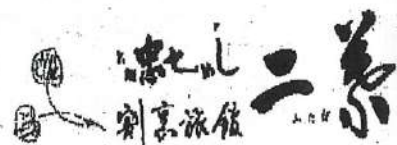
7月22日(木)	11:00～13:00	みらい販売
7月31日(土)	16:30～19:30	行田特別支援学校 夏祭り
8月6日(金)	13:30～15:30	行田市役所販売
8月12日(木)	11:00～13:00	みらい販売
8月19日(木)	11:00～13:00	やすらぎ販売
8月20日(金)	13:30～15:30	行田市役所販売
8月26日(木)	11:00～13:00	みらい販売

< i n f o m a t i o n >

ハチミツ ロイヤルゼリー プロポリスの専門店



〒361-0073 埼玉県行田市行田5-6
行田店 ☎048(550)4783 武州養蜂園



〒355-0328
埼玉県比企郡小川町太塚3-2
Tel. 0493-72-0038 (代)
Fax. 0493-74-1338



どんな小さな工事でもOK

- ・バリアフリー工事
- ・新築工事
- ・増改築工事

何でもご相談下さい。
※見積り無料

〒360-0841
熊谷市新郷919-12
TEL: 048-572-4686
FAX: 048-573-5776

編集・発行

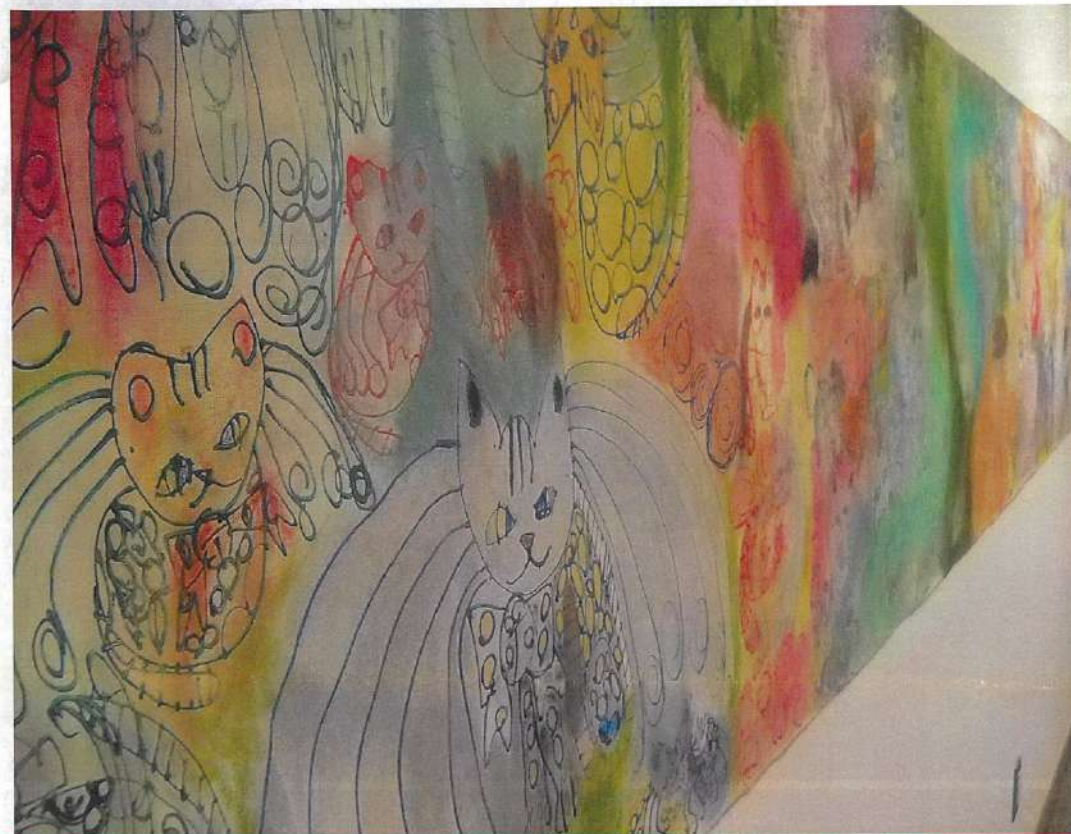
NPO 法人 CIL ひこうせん

〒361-0071
埼玉県行田市栄町 22-5
H P : <http://cil-hikousen.jp>
T E L : 048-(555)-1100
F A X : 048-(555)-1301

ねん がつ にち エヌビーオーほうじん シーアイエル はっこう
2010年7月20日 NPO 法人 CIL ひこうせん 発行

ひこうせん通信

vol.46



てん
こころ アート展ラッシュ!

6月のひかり

6月16日(水)～20日(日)の5日間、行田市郷土博物館で、5回目のこころアート展が開かれました。今回は川越の「あいアイ美術館」さんとのコラボレーション展示を行いました。
 雨の降る中、5日間で延べ327名の来場者があり、多くの方に楽しんでもらうことが出来ました。



上はあいアイ美術館さんの展示です。陶器のフクロウは、全て柄も顔も違っていて、来場者の方に大変人気がありました。あいアイ美術館さんは、上海万博にも出展しています。ここ行田で、上海万博と同じレベルの作品が見られるなんて、知る人ぞ知るレアな展覧会だったのです！



今回はこころアーティストの中でも、原口めぐみさんとAYAさんの作品を選んで展示しました。
 特に原口さんの、11mにも及ぶ超大作は、迫力満点！たくさんの方から感嘆の言葉をいただきました。
 また、AYAさんの作品の緻密で愛らしい魅力にも、好評をいただきました！



さいたま 埼玉トヨペットでこころアート展！

埼玉トヨペット与野本店にある「はあとねつと輪っふるギャラリー」、そして熊谷市にある埼玉トヨペット肥塚店にて、こころアーティストの作品を展示しました。

評判は上々。トヨペットの車のディスプレイと共に、来客の目を楽しませることが出来ました！



4/29(木)～5/30(日)

さいたま 埼玉トヨペット 与野店

はあとねつと輪っふる
『ワンダーランド』

こちらでは、こころアーティスト5名全員の作品を展示してきました。

大きな窓から光が差し込む明るい展示場の
中で、こころの作品も一段と映えていました。

通りからも、窓越しに作品を眺めていく方が
たくさんいて、目を引いていたとお店の人に教
えてもらいました。とっても嬉しいです！

7/10(土)～7/19(日)

さいたま 埼玉トヨペット 肥塚店

『ERIKOの世界』

こころアーティストの一人、ERIKOさんの作品を借りすぐって、
埼玉トヨペット肥塚店へ展示ディスプレイしてきました！

彼女の描く楽しくて涼しげなイルカたちの世界を、車と一緒に
眺めてもらったり、休憩スペースから一服しながらチラリ。

来場して下さったお客様から好評をいただき、次回への
手ごたえを感じました。



こころもよう

まだまだ続くこころメンバー アート展！

創案で日中活動している堀越 寛さんは、
福祉器具のバランスーを使って絵手紙を描いています。

これら作品が合同展示されます。

えてがみごうどうかいいんてん
絵手紙合同会員展

7月24日(土)～26日(月)

午前9時～午後5時(最終日4時まで)

会場：行田市コミュニティーセンター

作品は800点合同展示します。

ご来場お待ちしております。



堀越さんが描いた絵手紙

こころ新商品！

アートポーチ

こころアーティストメンバーの描いた作品
が可愛いポーチになりました！

いろいろな柄があるので、全部欲しくなっ
ちゃいます！是非手に取って見て下さい！



これから種類が増える予定です！

各¥1,000-

たなう
棚売ります！



キッチン棚
3,000円



ご希望の方は下記へご連絡下さい。

ひこうせん 斎藤和希まで

電話：048-555-1100

FAX：048-555-1301

「こころ」の活動が テレビ放送されました！！

木村 浩章

5月30日(日)、日本テレビの「24時間テレビリポート」にて、「こころ」のアートや音楽活動を中心とした活動の様子が放送された。

この番組は、毎週日曜日の早朝、「24時間テレビ」の趣旨にのっとり、様々な福祉活動を紹介する番組である。

この番組から取材を受けたきっかけは、こころの取材より先に、ひこうせんの理事である田島隆宏氏が「地上50cmの写真家」として、同番組に取材を受けたことから始まった。

田島氏がこの番組の撮影に入る前、氏の配慮で担当ディレクターとの打ち合わせの場にも私も同席し、現在ひこうせんが実施している各事業内容を説明させてもらった。

後日、その時の担当ディレクターから連絡があり、「田島氏と別に、こころの活動の様子を番組にしたい」という申し入れを受け、取材に快く応じた。

そして、取材は4月22日(木)に行われることになった。

朝から冷たい雨が降っていたが、創楽とそれいゆで日頃活動しているメンバーは、普段より一段と頑張って取材に応じていた。

実際の放送では、創楽のアート活動や音楽活動、それいゆのカフェの様子等、そして理事長の私や、こころのアーティストである原口めぐみさんとERIKOさんのインタビューが、約3分間という短い番組の中に分かり易く凝縮されていた。

テレビで見た創楽、それいゆは、映りも良く、まるでどこかの避暑地にある建物を思わせる程だった。カメラマンの腕もさることながら、実際の建物の魅力も十二分に伝わっていたことを、ここに自慢しておく。

今回の取材を経て、こころの、ひいてはひこうせんの活動が広く周囲に知ってもらえることを期待している。



【追記】

- 1) 田島氏が取材された番組は、5月1日(日)に放送されました。
- 2) ひこうせんは、当団体の活動や障がい者理解を社会に促すため、今回同様のテレビや新聞等のメディアからの取材は、個人のプライバシーに細心の注意を払うことを前提にしながら、応じていきたいと考えています。
多くの関係者各位のご理解、ご協力の程、宜しくお願い致します。

ケアホーム建設の中間報告

斎藤 貴美子

「なかまの家」が出来てから、早や、5年が経過しました。6人の定員に対して、待機者が8名になり、緊急の人もいるので、何とか、ホームの新設をしたいと考えてきました。

自立支援法が成立してからは、埼玉県では、生活ホームの新設には慎重で、なるべく、ケアホームにして欲しいと指導を受けました。幸い、昨年(2009年)10月から、ケアホームが身体障がい者も対象になったので、ケアホームを作る方向で考えることにしました。

最初は、家を借りて改修して使おうと企画しましたが、2階建てでエレベーターも必要なこともあり、あまりに見積りが高額だったので、ならいつそのこと新築の方が使いやすいホームになるのではということになったのです。

いくつか候補地を探していたが、この改修工事を施工していただくことになっていた(有)門倉工務店さんが、「それなら、土地を提供しますよ」と言ってくださり、理事会での討議の結果、門倉さんが申し出てくれた土地での建設を計画することになりました。

敷地面積も広いので、1階建てで6人の部屋がとれ、駐車スペースもあります。しかし、その分、建築費も多額になり、総費4,000万円の予算です。

資金は全額借入とし、関係者からは無利子で貸していただくことにしました。その他、不足分は、埼玉県社会福祉協議会と日本政策金融公庫(旧国民金融公庫)から借り入れることとしました。この借り入れは、ひこうせんにとっては、初めての外部からの借入になります。理事の意志の確認をめぐって問題が発生しましたが、どうにかクリア出来て、無事、資金の調達もうまくいきました。

設計監理は、改修工事に時に設計をお願いした「都市開発設計」の横賀洋氏に決まりました。施工業者は、入札の結果、土地を貸してくださる(有)門倉工務店に落札し、お願いすることになりました。

現在、確認申請を提出しているところで、まだ、決定は出ていませんが、7月6日、理事、各課長、入居予定者やその関係者に集まっていただき、無事地鎮祭も執り行いました。この後、確認が下り次第、工事に着手します。

完成は、9月末から10月末までの予定ですが、今後、埼玉県に事業開始の申請や入居予定者のスムーズな入居に向けて、支援計画の策定、サービスの支給手続きなど、順次確定していかなければなりません。

また、ひとつ、ひこうせんの自立生活支援のための拠点が生まれようとしています。みんなの方で作出し、みんなの財産として、新ケアホームを迎えていただきたいと願います。

新ケアホームが、ひこうせんの事業をさらに、前進させてくれることでしょう。

ところで、この新ケアホームの名称を公募します。是非、名付け親になってください。良い名前が浮かんだ方は、ひこうせんスタッフまで！

れすぽんす

きむら ひろあき
木村 浩章

晃目、ある研修会に参加した。

その時に、講師の一人から「大が問わず、組織のリーダーは、3つの目で自分の組織を見なければならない。その目とは、鳥の目・アリの目・鯨の目のことである」という話を聞いた。

鳥の目は、高いところから組織を広く見る目。アリの目は、鳥の目と反対に地面に近いところから組織を細かく見る目。最後の鯨の目は、川の流れを見るように社会や世間の流れを見る目のことである。

今年の春の気候は、例年と比べてすっきりしない気候が続いた。

政治面でも、単純県の栄華基地移転や、釜と政治問題、長引く不況による雇用問題等で国民の気持ちもすっきりしない状態のまま、鳩山前総理が突然辞任された。あれよあれよと言っている中、「強い経済、強い財政、強い社会保障」を掲げた菅政権が誕生した。

そして菅政権では、強い社会保障の実現のための財源として消費税引き上げを明言した。

確かに、消費税引き上げは最も有効的な財源の確保であると考えられる。

だが、それより前に国民が望む政策とは、雇用の悪化、公務員の賃下げ、単純県栄華基地移転、自殺者増加等の諸問題の早期解決と、5年後、10年後の日本の将来像を我々国民に示すことではないか。

ぜひ、菅総理には、鳥の目、アリの目、鯨の目、この3つの目で、現在、日本が抱えている諸問題を早期解決してほしい。と、同時に、決して前政権のような「鳩の上には鷹がいる」といった二重構造にはならないでほしいということも望んでいる。



ネットワーク合宿 体験記

おおつか のりゆき
大塚 則幸

2010年6月19日～20日に、嵐山町にある国立教育女性会館にて、1泊2日間、埼玉県障害者市民ネットワーク主催の合宿に参加してきました。

合宿のテーマは「私の暮らし、みんなの暮らし」です。

1日目は13時からスタートで、参加した埼玉県内の他の障害者団体の代表者が、自分たちの活動や利用者さんの実例を話や劇で紹介してくれました。ひこうせんの中でも、様々な課題があるように、他の団体でもそれぞれの課題を抱えているのが分かりました。

住んでいる地域や生活環境で課題点は少しずつ違いますが、根本的には同じような事を課題としているように思えました。

1人、私と同じような悩みを抱えている方がいて、それが印象的でした。

それは、学校へ行きたかった、という内容のものでした。

今は特別支援学校がたくさんありますが、私が幼い頃には私が通える学校はありませんでしたので、通いたくても通えないのが現実でした。

まったく同じような思いをしている方が、「今からでは無理だけれども、後20歳若かったら学校へ通いたかった」と話しているのを見て、私も深く共感しました。

各団体の発表が終わった後は、細川律夫厚生労働副大臣の政策秘書である石原憲治氏と、ときわ町の町会議員、笹沼和利氏が来て交通基本法案について、移送サービスについてお話し下さいました。

埼玉県独自の生活サポート事業は、今現在は移送サービス事業を主としていますが、他の利用方法などもあるので活用してほしいとおっしゃっていました。

笹沼さんは、今年度のひこうせんの交通アクセスをテーマにした共生ゼミに参加していて、そのことについてもお話し下さいました。デマンドバスの事や、複数乗車の事を説明して下さい、他の団体にもどんどん利用するようにも勧めていました。

とても良い意見交換の場が持てたと思います。

勉強会をした後は合宿所にて、参加者の方たちとワールドカップの日本対オランダ戦を、お酒を飲みながら観戦しました。サッカーの結果は残念でしたが、他の団体の方たちとの交流が持て良かったと思いました。

2日目は少しみんなも疲れているような様子でしたが、9月の1日・2日の県交渉に向けて話し合いをしました。サッカー観戦の時の様に熱く討論を交しました。

最後に、自己紹介を兼ねて各自の発表をしました。

私はパソコンの操作やソフトの事を話しました。他団体からは、トーキングエイドを使われている方や、コミュニケーションを取るのが困難な方もいましたが、私なんかよりお話が上手で、ちょっと恥ずかしかったです。

今回の合宿を経て、新しい発見をしたり、様々な団体の方との交流を深めることが出来ました。

この経験を活かして、今後のひこうせんでの活動に役立てていきたいと思っています。

あっとキミコ

チームワークの力

さいとう きみこ
斎藤 貴美子

サッカー、ワールドカップはスペインの優勝で幕を閉じた。

ワールドカップが始まる前、誰もが全日本が16強入りするとは思っていなかった。しかし、予選リーグを2位で通過し、決勝トーナメントへ進み、16強入りした。

私はさほどサッカーに詳しい訳ではないが、この、全日本が16強入りした要因として、「チームワーク」の良さが挙げられているのを聞いた。

もちろん、岡田監督の戦略・戦術が的を得ていたこともあるが、それを上回り、チーム全員が、気持ちを一つにしたチームワークを作り出したことが、チームを16強入りさせたのだ。

「チームワーク」を作り出すきっかけとなったのは、選手だけで行ったミーティングだという。岡田監督の言った「下手なんだから、泥臭い試合をしよう」から、チームが、一つにまとまっていた。

全日本のチームが見せてくれた「チームワークの力」というものが、こんなにもすごい結果を生むのだということを改めて認識している。

パラグアイ戦のPKで、駒野選手が外して日本は負けた。

その映像を見ていた私は、駒野選手に非難が集中しないことを祈った。しかしそれは杞憂に終わり、チームがみんな、駒野選手に「胸を張って日本に帰ろう」と励ました。

もともと、PKはじゃんけんのようなものと言われていたそうだが、それにしても、これまでの日本だと失敗を許さないことが多かった。その後、晴れやかな表情で記者会見に出席した駒野選手に、こういう、チームワークを日常的に作り出すことが大切なのではないかと、強く感じた。

サッカーのように、その場の瞬間的な判断と行動が問われるスポーツと、私たちの日常は違うのだが、しかし、今、自分が成していることの理解という点においては、全く同じことが言えると思う。

ひこうせんのような小さな集団にしても、全体のチームワークがよい仕事を生み出すのだ。

「チームワークづくり」、「なかまづくり」と言い換えてもいいが、岡田ジャパンの旗にも描かれていた「絆」は、ひこうせんの今年の1字でもある。

絆は様々な方面に繋がれていくだろうが、私たちは私たちの良い仕事のできる「チームワークづくり」、「なかまづくり」をどんな場面においても目指していきたい。

ひこうせんの仲間の絆をさらに強めていく、みんな仲良くなっていくという、ひこうせんに関わる方はそう、心掛けてもらいたい。

チームが自分に荷をしてくれるかではなく、自分はチームのために荷ができるのか、どう動くのかを考えて欲しい。

ひこうせんに求められているものは、障がい者とともに、みんなが助け合って、自らが望む生活をしていくために、必要な支援及び事業を確実にすることである。その過程は、確実であるとともに、楽しさを併せ持つものでなければならない。

そういう仕事の出来る、私たちのチームワークを、みんなで作っていきたい。

各部署からの連絡

ひがえ いんとう ぶどうぶつこうえん
日帰りバスツアー in 東武動物公園

レク課

にちじ ねん がつ にち きん
日 時：2010年9月24日（金）8：30～16：30
ばし ゑ どうぶつこうえん うてんじ
場 所：東武動物公園（雨天時 レイクタウン）
しゅうこうばし ゑ ぎょうだし
集 合 場所：バスターミナル（行田市）
しゅうこうじかん じ ぶん しゅうぱつじかん じ ぶん
集 合 時間：8時30分 出 発 時間：9時30分
さん か ひ えん
参 加 費：2,000円

なお かいじょしゃぶん さんかひよう りようしゃぶん
尚、介助者分の参加費用は、利用者負担となります。

てい いん めい
定 員：40名

※東武動物公園内でかかる費用（昼食・乗り物代など）は自己負担ですので、各自でご用意ください。

※また当日は障害者手帳が必要となりますのでご用意をお願いします

しよくじかい さそ お食事会のお誘い

7月27日火曜日のみんなの広場は、ひこうせん本部にて、バーベキューを行いますのでご参加をお待ちしております

子供（小学生、中学生、高校生まで） 100円
大人（利用者、ひこうせん会員、スタッフ） 300円



バーベキューに参加される方は、レク課の細野まで申し込みをしてください。

※ 締め切りは7月23日までにお願いいたします。

がくどう 学童きらきら

ご家庭で不要になったチャイルドシート・遊具等ありましたらご寄付をお願い致します。ご協力いただける方は、ひこうせんまで連絡をお待ちしております。